

第2学年 図画工作科学習指導案

第2学年 18名
指導者 三木 和子
中妻 理恵
授業場 図工室

1 題材名 つないで つるして <A表現(1)造形遊び・B鑑賞>

2 題材設定の理由

本題材は、細長く切った紙を友達と協力してつないだりつるしたりしながら、思い付いたことを体全体を働かせて表していく造形活動である。ここで扱う紙材の新聞紙やチラシは低学年の児童にとって身近にあり、生活の中でも様々な活用をしてきている。紙材の中でも柔らかく、軽く、適度な強度もあり、児童が扱いやすく、簡単に加工することができる。また、色画用紙や色紙にはない微妙な色や柄の変化、質感なども楽しみながら表すことができる材料である。本題材は、まず、新聞紙やチラシを切り、細長い紙を大量につくりながら、これからの活動への興味や関心を高めていく。天井からつるした牛乳パックに、まず1本目の細長く切った紙をつなげてみる。そこに1本、さらにもう1本とつなげていく中で、どんどん長くなる形を楽しみながら豊かに材料とかがわり、自分らしい発想を広げる。つないだりつるしたりする行為そのものを楽しみ、その中で生まれてくる形や色の変化に気付いていく。自分の思いを膨らませ、自分の思いにそうように自己決定しながら新しい形を生み出し、表現することができる。長く広くつなげていく中で、自然と友達の活動と交錯してくる。友達同士の交流でお互いの表現のよさや面白さを感じ取ったり自分の表現に取り入れられたりすることにより、さらに新たな発想を生み出すことが期待できる。

本学級の児童は、明るく元気いっぱい、様々な活動に意欲的に取り組んでいる。休み時間には粘土遊びやお絵かきをする姿がよく見られ、図画工作科の学習も、とても楽しみにしている。5月に行った『しんぶんしとなかよし』では、新聞紙を破いたり、丸めたりしながら手や体全体で楽しみ、思い付いた活動を行った。新聞紙を棒状に丸めた形から迷路をつくったり、何枚も重ねて体に巻き付けて包んだりして、自分の発想をどんどん形にして表し、つくっては試してみて、またつくりなおすと、工夫しながら活動する様子が見られた。また、7月に行った『ざいりょうからひらめき』では、リボンやストロー、ビーズなどの身近な材料を組み合わせて絵に表した。材料がもつ質感を確かめ、台紙の上に材料を並べたり、置き直したりして、材料の組み合わせを試しながら、自分のイメージに合う色や形を見つけて表していた。このように児童は身近な材料とかがわりながら、発想や構想を繰り返して活動する楽しさを感じてきている。本題材では、さらに児童の手や体全体の感覚を生かした活動を設定し、これまでの材料とのあいをつなげながら、友達と伝え合う中で、自分の見方や感じ方の広がりも感じ取らせたい。

指導に当たっては、児童がつないで、つるす行為を通して、思い付いた活動をどんどん実現できるような材料や場の設定、児童の思いに寄りそった支援を大切にしていきたい。材料の新聞紙やチラシは様々な長さや太さ、色や柄を用意し、児童の発想の広がりを促す。活動の起点となる牛乳パックは高さの変化が出るように設置することで、つなぐ形に変化が生まれる。また、児童の活動の様子や表現物を画像で記録し、評価だけでなく、授業中の支援や振り返りの場で活用する。活動が進まない児童には、友達の表し方を見せたり、教師と一緒につるしたりして自分の思いが表現できるようにしていく。鑑賞では、自分がつないだ帯の軌跡をたどり、つくりだした形の面白さを丁寧に感じ取らせていく。下から見上げたり、中に入りこんだり角度を変えてみることで見方や感じ方の違い、それぞれの思いや工夫を感じ取ることができるようにする。活動後は1年生を招待してお気に入りの場所を紹介したり、一緒につないだりして活動の楽しさを共有させたい。自分たちの手でつくりだした喜びを味わいながら、教室中に張り巡らされた紙の世界を楽しませたい。

3 題材の目標

紙を細長く破いたり切ったりして、つないだりつるしたりしていくことを楽しむことができる。
(造形への関心・意欲・態度)

紙をつないだりつるしたりしながら、どのようにすると面白いかを考えることができる。
(発想や構想の能力)

思いに合わせて紙のつなぎ方やつるし方を工夫して表すことができる。
(創造的な技能)

つないだりつるしたりしてできた形を友達と見せ合って面白さを感じ取ることができる。
(鑑賞の能力)

4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
紙を細長く破いたり切ったりして、つないだりつるしたりしていくことを楽しもうとしている。	紙をつないだりつるしたりしながら、どのようにすると面白いかを考えている。	思いに合わせて紙のつなぎ方やつるし方を工夫して表している。	つないだりつるしたりしてできた形を友達と見せ合って面白さを感じ取っている。

5 指導と評価の計画 (全2時間 本時2/2)

時間	学習活動	評価規準・評価方法			
		造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
二時間	細長く切ったり破いたりした紙を、つないでつるしていく活動を楽しむ。 つなぎ方やつないでできる形を工夫して表し、活動を振り返る。 (本時2/2)	紙を細長く破いたり切ったりして、つないだりつるしたりしていくことを楽しもうとしている。 (観察・発言)	紙をつないだりつるしたりしながら、どのようにすると面白いかを考えている。 (観察・対話・発言・表現)	思いに合わせて紙のつなぎ方やつるし方を工夫して表している。 (観察・対話・発言・表現)	つないだりつるしたりしてできた形を友達と見せ合って面白さを感じ取っている。 (観察・発言)

6 本時

(1) 目標

紙のつなぎ方やつるし方を工夫して表すとともに、形の変化を感じ取ることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	学習活動における 具体的評価規準	評価 方法
5分	1 本時の学習への意欲をもち、めあてを確認する。	前時の学習を振り返り、本時の活動のめあてをもたせる。		
	つないだりつるしたりして かわっていく形を楽しもう。			
30分	2 つなぎ方やつるしてできる形を工夫する。	<p>少し離れて見ることを勧めるなどして、児童の発想を広げ、活動を膨らませることができるようにする。</p> <p>つないだりつるしたりした形だけでなく、色の組み合わせや周囲のものを利用した立体的な組み合わせなどの工夫を紹介することで、児童の気付きを共有できるようにする。</p> <p>児童のつばやきや表情からも思いを受けとめて認め、表現への意欲をより高めることができるようにする。</p>	<p>思いに合わせて紙のつなぎ方やつるし方を工夫して表している。</p> <p>【創造的な技能】</p>	観察 対話 発言 表現
10分	3 自分や友達の表現を見て話し合い、本時の活動を振り返る。	自分がつないだ軌跡を振り返り、できたものを友達と話し合うことで、形の変化やつるし方の面白さなどを感じ取ることができるようにする。	<p>つないだりつるしたりしてできた形を友達と見せ合って面白さを感じ取っている。</p> <p>【鑑賞の能力】</p>	観察 発言

(3) 評価および指導の例

「十分満足できる」と判断できる状況	<ul style="list-style-type: none"> 紙のつなぎ方やつるし方などを工夫して、自分の思いを伸び伸びと表している。 【創造的な技能】 自分や友達のつくり出した形のよさや変化する形の面白さを感じ取り、友達に伝えようとしている。 【鑑賞の能力】
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 友達のつなぎ方やつるし方を見せたり、教師と一緒につるしたりして、自分の思いを表すことができるようにする。 【創造的な技能】 できたものをいろいろな角度から見せたり、自分のつないだものをたどったりして、形や感触の面白さを感じ取ることができるようにする。 【鑑賞の能力】